

21. 大谷大学

テーマ	大学生の思考力・表現力を高める言語技術オンラインプログラムの実践と課題	
発表代表者	筒井 洋一:大谷大学 非常勤講師	
連名発表者	北村 昌江:ランゲージ・アーツ研究&アカデミー 代表 出町 卓也:英国 East Anglia 大学大学院	
キーワード	日本人に適した言葉の技術の指導法	論理的・批判的思考力育成
	言語・非言語(ビジュアル)情報分析	自ら考え・判断し・行動する人づくり
発表の概要	<p>大学では、根拠を基にしたロジックや批判的思考力のための言語技術教育が一般的である。そのため、多くの学生は、大学の論理的思考やレポート作成、論文作成に自信が持てず、発表に対しても非常に消極的である。</p> <p>紹介する言葉技術トレーニングプログラムは、欧米諸国を日本人に合わせてプログラミングした。これを使って「2025 大谷大学『大学の学びを知る』の授業で、学生の思考力・表現力をどこまで向上させられるか挑戦した(15 週中 5 週間)。その中で学生は、言語技術の有用性にどこまで気づけたのか、学習活動にどれくらい活用できたのかを報告し、社会が求める自律した学生の育成に必須な言葉の力とは何か、海外の大学でも要求される批判的思考力の育成について発表する。と同時に、生じてきた課題についても論じる。当授業では、言語技術のメソッドのオンライン化についても実践を行った。</p>	